

## 会議録

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 第2回子ども子育て審議会計画専門部会                                                                                                                                                                                           |
| 開催日時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 令和6年4月25日（木曜日）午前9時30分から11時20分まで                                                                                                                                                                              |
| 開催場所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 田無第二庁舎4階会議室3                                                                                                                                                                                                 |
| 出席者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 委員：小野部会長、井上委員、島崎委員、菅野委員、中村委員<br><br>事務局：遠藤子育て支援部長、菱川子育て支援課長、齋藤幼児教育・保育課長、中村幼児教育・保育課主幹、笹本幼児教育・保育課主幹、河野児童青少年課長、宮崎子ども家庭支援センター長、栗林子育て支援課長補佐、倉本子育て支援課副主幹、岡田子ども家庭支援センター長補佐、本谷子育て支援課調整係長、越川子育て支援課調整係主任、須藤子育て支援課調整係主事 |
| 議題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 1 議題<br>（1）子育て支援ニーズ調査及び子どもの生活実態調査の結果について<br>（2）子どものワークショップについて<br>（3）若者調査について<br>2 その他                                                                                                                       |
| 会議資料の名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 資料1 西東京市子どもワークショップ企画案<br>資料2 西東京市若者調査 調査項目（案）<br>資料3 若者調査案内文<br>資料4 若者調査 WEB調査票                                                                                                                              |
| 記録方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録                                                                                         |
| 会議内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                              |
| <p><b>1 審議</b></p> <p>（1）子育て支援ニーズ調査及び子どもの生活実態調査の結果について</p> <p>①子育て支援ニーズ調査について</p> <p>○小野部会長</p> <p>委員の皆さまには、前回子育て支援ニーズ調査報告を確認いただいたと思う。現状で気になった点や、課題であると感じた点などを議論したい。</p> <p>○島崎委員</p> <p>前回調査と比較して就業している母親の割合が増えて、子育てのニーズも増えている。市は様々なサービスを提供しているが、サービスを知らない人や十分に受けられていない人も多いと感じた。子育て応援アプリ「いこいこ」もあまり利用されていないようである。サービスにたどり着く方法が分からない人がいると思う。</p> <p>子育てに関する問題が発生した時に、市の問い合わせ窓口が一本化できないだろうか。</p> <p>子育て支援サービスを調べる時間すらないという意見もあった。子育て支援サービスの周知等も実施していると思うが、西東京市民全員に周知することはできていない。成功している自治体があれば、モデルとして参考にできるのではないかな。</p> |                                                                                                                                                                                                              |

○小野部会長

他の自治体の成功モデルを参考にするのは良いと思う。「いこいこ」の中にも、予防接種スケジュールを管理する電子母子手帳のような機能があると、もっと使ってもらえるのではないかな。

○中村委員

西東京市に引っ越して4年経つが、「いこいこ」は審議会で初めて知った。ちらしを置いてあるとのことだが、保育園の送迎時は時間に追われていて、先生とのコミュニケーション時間を確保するのが精一杯で、園内の掲示物はほとんど見ていなかった。

○菅野委員

どの自治体も情報を伝えることに悩んでいるのではないかな。先進的な取り組みが多い自治体でも、相談員の話の聞いていると同様の悩みを聞くことがある。

相談者は、寄り添ってほしいのが一番であると思う。アプリを入れてほしい人に限って知らないことが多いので、解決できない問題も多いのではないかな。

○小野部会長

アプリは、使い勝手が良ければダウンロードしてくれるかもしれないが、あまり緊急性・必要性の高くない情報が多いのかもしれない。

アプリは立ち上げないと見ないが、LINEは他のものを見るついでに見ることができるので、西東京市子育てホットラインのような公式LINEを立ち上げた方が良いかもしれない。そのあたりは検証していく必要があると考える。

子どもの生活実態調査結果報告書を見ると、生活困窮者層はLINEで情報を収集している割合が高い。「いこいこ」もスマートフォンから利用できるもので、相性は良いのではないかなと思う。

○井上委員

西東京市の公式LINEを登録しているが、子育てに特化したものでない。

○中村委員

LINEで子育ての情報のみが見られるとありがたい。また、実際にアプリを見たが、アプリを入れても入れなくても得られる情報は変わらないと感じた。「いこいこ」でないと見られない情報はなかったなので、アプリとして内容が薄いように感じた。

○菅野委員

これだけたくさんの市民の方々が回答してくれて、正直な思いを書いているのはとても貴重だと思う。自由回答からだけでもいろいろと分かると思った。特に、相談に関する内容が気になった。障害のある子どもや不登校状態の子どもの保護者の声も聞けた。

○小野部会長

子どもの長期休みの際、学童保育を利用できないという声があった。月極で入ることは難しいのだろうか。

○菅野委員

定員充足率が100%を超えているところが多いと聞く。

○小野部会長

放課後の居場所について、学校も開放してほしいという意見は子どもの生活実態調査でも出ていた。放課後に預かってくれる場所は、子育て支援ニーズでもあると思う。

○島崎委員

新しいサービスを作るのは難しいので、今あるサービスを充実させる方法が考えられる。ファミリー・サポート・センター事業等も現状どういう状況なのかというのが気になっている。

○小野部会長

ファミリー・サポート・センター事業と病児・病後児保育室の満足度が前回調査よりも下がっているが、その理由は分かるか。また、この5～6年でサービスの使い勝手が悪くなっているのか。

○島崎委員

自由回答の病児保育に「手続きに時間がかかる」等の理由が挙げられている。突発的に利用ニーズが生まれることが多いので、このような理由で満足度が下がっているのではないか。ファミリー・サポート・センターは、いつもお願いできるサポート会員が複数名いて、突発的な依頼であっても保護者が直接依頼することができるようになれば、利用しやすくなるのではないかと思う。

○小野部会長

その通りだと思う。手続き自体は5～6年前から変わったわけではないと思う。提供会員が少ないのだろうか。提供会員とうまくマッチングできれば突発的な対応もできると思う。

○島崎委員

以前の審議会でも発言したが、サポート会員になるには、3日間研修を受けなければならない、講習日も社会福祉協議会が指定しているので、会員登録のハードルの一つになっている。看護師や保育士、教員免許等の子どもに関わる有資格者であれば、1日研修で登録可能なようなルールがあれば、登録が増えるのではないかと思う。

○事務局

ファミリー・サポート・センター事業に満足できない理由として、「会員の高齢化が進んでいるので不安」「1日仕事で使いたかったが、長時間の利用は拒否された」などの声があった。

○小野部会長

前回調査と比較して満足度が下がっている理由は分からないか。

○事務局

特定のサービスがなくなったというよりは、母親の就労状況の変化という状況もあり、既存のサービスが現在の子育て支援ニーズに合わなくなったと考える方が適切だと思う。

○小野部会長

病児・病後児保育事業の満足度が下がっている理由はいかがか。

○事務局

空きがない、予約が取れない、予約がしづらい、遠い、高い、利用前の受診が負担などの声が挙がっていた。

○小野部会長

自由回答でも同様の回答が見られた。就労している母親が増える中で、遠い、高い、受診負担などが解決されないと不満が溜まりやすいのかもしれない。

○中村委員

以前、病児保育を利用した際、預ける前に病院を受診する必要があり、結局半日仕事を休まないといけなくなった。また、病児保育は定員に達していることが多く、何日も前から利用が埋まっていると言われた。

病児保育の需要が高いようであるし、自由回答にもあったが、保育園の隣にあった方が送迎もしやすいので、認可保育園の一室等で預かってくれると利用しやすいのではないか。

○小野部会長

病児・病後児保育は、場所によって利便性が違う可能性がある。

休日保育のように、開所している施設が少ないので、利用が集中して使い勝手が悪いという声や、一方で、開所しているのに利用者が来ないケースもあるかもしれない。

○菅野委員

全体的に地域によって回答が変わると思う。地域性も関係しているのではないかな。

○小野部会長

病児・病後児保育の状況も、休日保育の状況も、実際の施策の検討の際には地域別に確認した方が良い。

○井上委員

病児・病後児保育については、前回調査から場所と受け入れ人数は増えていると思うが、開所時間の課題は解決していない印象である。保育園と同じ開所時間ではないので、預けるために朝遅刻して、帰りも早退しないといけないという方も多いように思う。

病児保育の診断情報提供書をもらうために、病院に行かないといけないというのもハ

ードルになっているように思う。

自由回答に関しては、感謝の声もあると思うが、やはり何かを改善してもらいたいと考えている人が書いてくれているのではないかなと思う。レスパイトケアや就労を条件としない受け入れなどを考える必要があると思う。

○小野部会長

何百人という方に自由回答を回答いただけたことだけでも、この調査は貴重な財産になると思う。自由回答については、重く受け止める必要があると思う。

居場所に関しては、いかがであるか。

○中村委員

公園の整備が必要だと思う。子どもを外で遊ばせたいという思いもあるが、日陰がない場所で遊ばせるのはどうだろうかという思いもある。他にも、ボール遊びができない等の意見もあり、子育てする中では公園の意味があるのだろうかと思ってしまう。

○小野部会長

危ない道が多い、道路が狭い等の意見もあった。子どもの生活実態調査では道が暗いという意見もあった。学校、公園、道路などまちの環境に関する意見もある。

○島崎委員

発達障害児やグレーゾーンの子どもの居場所に関する意見も気になった。理解されにくく、回りの子どもとのトラブルもあると思う。

○小野部会長

就学相談も実態は相談ではなく審査に近いとか、また保育園に駐輪場がないという意見にも驚いた。

相談できる場所の周知と、啓発的な取組の両方が必要そうだ。相談しづらいという意見は複数あり、保谷庁舎にも相談できる場所がほしいという声もあった。

○井上委員

各サービスが利用しづらいというのはあると思う。予防接種や健康診断が保谷庁舎に案内されると遠方の方は利用しづらい。田無庁舎でも保谷庁舎でも受けられる仕組みがあると使いやすくなる。田無庁舎で問い合わせがあった場合も、その場でリモートで保谷庁舎に問い合わせられればそこで解決すること多いのではないかなと思う。

## ②子どもの生活実態調査について

○小野部会長

子どもの生活実態調査も自由回答が充実しており、実態が良く見えた調査だと思う。特に、経済的な状況と学習環境には相関関係があると感じた。困窮層の子どもの学習ニーズの充足は課題だと感じた。お金がなくて塾に行けないのではなく、学習する習慣や親が学習の様子を見る余裕がない等が如実に現れている。

また、困窮層の相談への繋がりが弱いようである。困窮層ほどLINE相談のニーズが高く、ホームページはあまり見ていなかった。LINE相談や情報提供の充実はもっ

とあっても良いと思った。

○井上委員

市のLINEは、いろいろな年代に向けた情報が入ってくるので、見落としてしまうことも多い。

○菅野委員

忙しいと見ない人もいると思う。

○中村委員

子どもの前でスマートフォンを見ていると、子どもが興味を持ち、手にしてしまうので、極力子どもの前でスマートフォンを開きたくないというのもある。子育てに特化したLINEがあれば便利かもしれない。

○菅野委員

子育てに関する支援や情報を知ってもらいたい人にどう届けるかは課題であると思う。

○小野部会長

LINEは、子育てに関する情報をまとめても良いかもしれない。子育て世帯は忙しいのでスマートフォンを見る習慣はあるが、パソコンを見る習慣はないかもしれない。

○中村委員

放課後の居場所や長期休暇中の受け入れ、休日保育の希望等は、子育て支援ニーズ調査と同様の課題が見られたと思う。預かり時間についても、保育園は19時までなのに、学童は18時までで困っているという声も多く挙がっていた。

○小野部会長

西東京市は、地域の無料学習支援は充実しているのか。子どもが自転車で行ける距離に無料の学習支援教室はあるのか。貧困対策という観点では、そのような支援を充実させる必要性があると感じた。

○島崎委員

地域によると思うので、拡充の必要性はあると思う。また、地域にあっても行かない子どもがいると思う。

私に関わる中学校では、学年毎に自由参加型で地域住民の見守り付きの自習教室が開催されている。分からないことをタブレットで調べたり、子ども同士で教え合ったりしている。困っていそうな子どもに声をかけると「ここが分からない」等と返ってくるので、「先生に聞いておいで」と促している。ただ、学校として利用してほしいと思う生徒が、利用していないという状況があるようだ。

○菅野委員

新型コロナウイルス感染症をきっかけに取組が中断した学校もあると聞く。

○小野部会長

学習支援がない学校や地域もあるようだが、学校で勉強する利点と、学校以外の場所で勉強する利点とどちらもあると思う。「勉強ができない」とレッテルを貼られた学校では勉強したくない子どももいると思うので、多様な学習の場が必要だと思う。地域住民の方が教えたり、公民館に学習支援の場があったりすると良い。

○島崎委員

自由回答に「塾や図書館ではない自習スペースがほしい」という声があり、自宅に帰っても勉強する環境が整っていない子どもも多いのではないかな。

○小野部会長

親に言われたくないなど、自分の部屋があっても家では勉強したくないという子どももいると思う。

○菅野委員

勉強を諦めてしまう子どもがいないようにしたい。

○島崎委員

学習教室に携わって感じるのは、子どもは一度勉強にのめり込むと、大人が止められないくらい次から次へと知りたい、学びたいという気持ちを持っている。そこにたどり着くまでは、友だち同士でも良いので、学習環境を学校が提供することが重要だと思う。学校もできることに限りがあるので、保護者や地域住民が声かけをしたり、協力したりすることで、子どもの学習意欲はどこまでも伸ばせると思う。

○井上委員

地域の方が携わる学習支援がほとんどない地域もあると思う。

○小野部会長

サービスが学校や地域によって一律でないことも課題である。

○菅野委員

小学校は支援が充実してきているように感じるが、中学校はまだ支援が不足しているように感じている。

○島崎委員

小学校は放課後子供教室もある。

○小野部会長

小学校も放課後子供教室の頻度や内容が学校によって異なると聞いている。

○井上委員

家に一度帰らず、ランドセルを置いたまま利用できるのが放課後子供教室だが、学校

の運営協議会に任されているので、十分にできている学校と、積極的に取り組めていない学校がある。

○小野部会長

先ほどの病児保育の問題と同様に、小学校と中学校での取組を見た方が良い。

また、学習だけではなく、文化的な体験や山・川遊びの体験等も学校でやってもらいたいという声も自由回答にあった。学校が土曜日に実施していたり、地域住民が呼び掛けて体験活動等を実施している自治体もある。学童クラブや放課後子供教室でもアドバイザーが来て実施しているケースもあるが、西東京市はないのか。

○島崎委員

やっているところもあるが、やっていないところもある。

○井上委員

自由回答に、手当が支払われるのは父親なので、父親・母親どちらでも受け取れるようにしてほしいという声があった。両方とも受け取れる仕組みになると良いと思った。

○小野部会長

制度に関しては様々な意見があり、書類の提出が平日のみで不便という声もあった。

また、西東京市子ども条例を知らない人が多く、驚いた。もっと啓発する必要がある。子どもも知らないが、大人も知らないケースが多かった。

○島崎委員

西東京市子ども条例を目にした時に、内容が入ってくるのかは課題があると思う。

○菅野委員

一時期、啓発活動はかなり取り組んでおり、今も学校でも実施していると思う。

○島崎委員

条例があることは知っているが、内容が分からないという声もあった。

○小野部会長

まったく知らない保護者が3割から4割程度いた。

本日の議論の内容を子ども子育て審議会に報告したいと思う。

## (2) 子どものワークショップについて

○事務局

資料1に沿って説明

昨日の庁内関係者会議において、ワークショップの概要を共有するとともに、他の課での経験や、意見があったので3点報告する。

1点目は、Day3について、企画案では、発表後に振り返りの時間として、関係者の大人が議論する場を設けているが、子ども参加の視点から、参加証明書を渡すだけで



なく、発表後に全体の方向性を子どもに説明した方が良いのではないかという意見があった。子どもの発表の受け取り方について、ご意見を伺いたい。

2点目は、障害児や課題のある子ども、健常の子どもと一緒に場に出るとしゃべれない子の意見をどのように聞くのかという点である。事務局としては、小中学生に関しては、特別支援学級を含めたアンケート調査を実施したので、別の機会に特定の子どもを対象としたヒアリングは予定していない。また、イベントの募集案内は公平に行い、どのような状況の子どももできるだけ受け入れたいと考えている。

3点目は、応募者多数の場合は先着順を想定していたが、平等性の観点から抽選の方が良いのではないかとの意見があった。事務局としては、抽選で実施できればと考えているので、ご意見を伺いたい。

○井上委員

市からの回答は「検討する」ではなく、「難しいががんばる」など他の言い方に変えていただきたい。市長が意見を聞いてくれて、がんばると言ってくれることが子どもにとって良いことだと思う。大人が約束を守る姿勢を子どもに見せられると良い。

○事務局

D a y 3は市長が不在であるが、代理が受け取りたいと思う。

○小野部会長

参加証明書を渡すだけでなく、子どもと対話し、意見を聞く場を設けて、その回答を後日子どもにフィードバックする形が良いだろう。

2点目については、ワークショップの募集の予定を事務局に伺いたい。

○事務局

募集の時期に小中学校の校長会で企画の趣旨等を説明し、周知を依頼する。特別支援学級も含めちらしを配布し周知を依頼する。

○小野部会長

誰もが参加できる形をとることで対応できればと思う。

3点目の参加希望者多数の場合については、いかがであるか。

○井上委員

締め切りから抽選結果の日数が短ければ良いと思う。

○小野部会長

それでは、先着順ではなく抽選としたい。

○小野部会長

ちらしの「子ども会議」という名称について、中高生は「市が主催のイベントに参加していることが分かると思う。

○井上委員

ちらしは、小学生には文字が少ない方が良いと思う。

また、参加証明書が何に役立つかを書くと良いと思う。中学生には、内申に書けるとメリットになると思う。保護者がちらしを見て、後押しすると思う。

○島崎委員

参加証明書の写真やイメージがあると良いと思う。市長からいただけるのかとかも気になると思う。

○小野部会長

ちらしの修正確認は、部会長に一任いただきたい。

○委員

異議なし

**(3) 若者調査について**

○事務局

資料2、資料3、資料4に沿って説明

○島崎委員

資料2の設問5の選択肢⑤について、市外の施設を利用しているかを回答できた方が良いのではないか。近隣市の図書館を利用している人もいると思う。

○小野部会長

市外施設を利用している場合は、その他に記載いただければと思う。

設問14の選択肢⑦について、「オンラインで相談できる」ではいかがか。LINEでの相談も想定されるが、LINE相談はオンライン相談になるのではないか。

○事務局

バーチャル空間での相談の場合、相談者は自分の分身で相談する点が他の相談方法と異なると認識している。

○小野部会長

それでは、オンラインやバーチャル空間で相談できるとしたい。

○島崎委員

資料3について、案内はがきに「20分程度で終了」とあるが、私自身が試したところ4分で終わった。20分だと長い印象を与えてしまうので、短い時間を設定した方が回答しやすいと思う。

○井上委員

スマートフォンで見ると紙で見ると時間がかかるかもしれないが、20分はハードルが高いと感じる人がいると思う。

○事務局

初めて調査項目を見る者でテスト回答し、時間設定したい。

○井上委員

資料4に関連して、入力途中で他の画面に移ったときでも、フォームに戻って続きができるようにしてほしい。

○小野部会長

二次元バーコードによる回答は、いつからできるようになるのか。

○事務局

はがきは6月3日に届く予定であり、発送時点でアクセスが可能な状態にしておく。

時間が経ってもログアウトしないか、入力途中でデータがセーブされるか等については、システム担当者に確認する。

○小野部会長

パソコンで回答する方は二次元バーコードが使えないのではないかな。

○事務局

パソコンが得意な方は、スマートフォンで読み込んだURLをパソコンにメール送信してアクセスすることもある。今回の対象世代は、パソコンを仕事で使用する方が多いと想定されるが、URLが長くなるので、基本はスマートフォンを想定している。

○小野部会長

推奨環境にパソコンやタブレットを記載するかは、事務局で検討いただきたい。他に  
ご意見等なければ、第1回子ども子育て審議会に報告させていただく。

調査票の修正の確認は部会長に一任いただきたい。

○委員

異議なし

## 2 その他

○事務局：

次回は、5月16日の子ども子育て審議会にご出席いただきたい。計画専門部会については、日程を改めて調整させていただく。

○小野部会長：

それでは、第2回子ども子育て審議会計画専門部会を閉会する。

閉会